

38th

# 森は海の恋人

## 植の樹祭

同時開催

春の水車まつり

新緑がまぶしい季節になりました。

山の木々はやわらかな葉をひろげ、谷をわたる風も、どこか若い命の匂いを含んでいます。こうして春から初夏へ向かうころ、私たちはまた、室根の山に苗木を植える日を迎えます。

思えば、この植樹祭も第三十八回となりました。長い年月のあいだに植えてきた落葉広葉樹は、少しずつ、しかし確かに森の姿を深めてきました。一本の苗木は小さくとも、歳月を重ねれば森となり、その森はやがて川を潤し、海のいのちを支える大きな力になります。秋に葉を落とし、その葉が土に還って腐葉土となり、見えないところで次のいのちを育てていきます。そこから生まれる養いは、沢となり川となって海へ下り、植物プランクトンや海藻を育て、魚や貝など海の生きものたちの暮らしを支えます。森と海は、遠く離れているように見えて、ほんとうはひと続きの命の世界なのです。「森は海の恋人」という言葉には、そのつながりへの驚きと感謝が込められています。

森は、目に見える働きだけでできているわけではありません。花は蜂を呼び、実は鳥や獣の糧となり、根は土をつかみ、落ち葉の下では無数の小さな生きものが土を耕しています。人が山に入って一本の木を植えるということは、ただ木を増やすことではなく、そのような見えないつながりを信じて手を添えることでもあります。

海辺で牡蠣を育てる者にとって、山の静かな営みは決して他人事ではありません。山の健やかさは、めぐりめぐって海の健やかさとなってあらわれるからです。震災を経た私たちは、自然の恵みがどれほど深く暮らしを支え、また自然の傷みがどれほど暮らしに返ってくるかを、身をもって知りました。だからこそ、山に木を植えるという営みは、単なる行事ではありません。海で生きる者が山を思い、山で生きる者が海を思う。その心を確かめ合う、大切な約束の場なのです。自然が立ち直っていく力に、人はどう手を添えることができるのか。その営みの一つが、この植樹祭でもあります。

子どもたちが土に触れ、若い人たちも年配の方々もともに木を植える。その光景の中には、この土地の確かな未来があります。人の手で植えた木が、いつの日か人の手を超えて森となり、その森がまた新しいいのちを育てていく。その長い時間の流れに思いを寄せるとき、私たちは決して無力ではないのだと励まされます。たとえ世の中がどれほど騒がしく移り変わろうとも、木を植えるという仕事は、未来の命を信じる行いです。そしてそれは、山と海のつながりを次の世代へ手渡していく、静かで確かな一歩でもあります。

今年も多くの皆様とともに鍬を入れ、土の匂いを感じ、風の音に耳を澄ませながら、一本一本に願いを託したいと思います。森に木を植えることが、海を豊かにし、人の暮らしを守り、次の時代への希望を育てることを、現地でともに確かめていただければ幸いです。新緑を見上げ、足もとの土に触れたとき、そのことは理屈ではなく、身体でわかるはずです。皆さま、どうぞお出かけくださいませ。

文・NPO法人森は海の恋人

理事長 島山 智

2026  
6 / 7  
Sun.

矢越山ひこばえの森交差点入り口  
「一関市樹木苗圃」

主催 | 室根町第12区自治会・NPO法人 森は海の恋人  
共催 | 一関市・気仙沼市 後援 | 室根まちづくり協議会

問合せ | 室根町第12区自治会 Tel 090-3648-9398 (事務局 小野寺)  
NPO法人 森は海の恋人 Tel 0226-31-2751 (代表 島山)

## タイムスケジュール

### 植樹祭

会場 ひこばえの森 司会 河合 純子 さん

フリーアナウンサー

- 9:00 受付(ひこばえの森交流センター前広場)  
オープニングー上折壁子供打ち囃子
- 9:30 開会式
- 10:20 植樹会場へ登山(矢越山ひこばえの森)
- 10:45 植樹作業開始ー1,100本程度植樹予定
- 11:15 植樹作業終了ー現地解散
- 11:30 森の観察会  
講師 大淵 香菜子 先生  
(東京農業大学大学院卒業、林学修士)



### 水車まつり

会場 ひこばえの森交流センター

- 9:00 水車小屋の移動  
こっとなこ市  
食堂開設(ひこばえ食工房)
- 11:50 餅まき(1回目)
- 12:00 室根創作太鼓の会「鼓」
- 12:20 ハイブリッジーズ「高橋家」家族バンド
- 12:35 鮪立大漁唄い込み
- 12:50 餅まき(2回目)
- 14:00 水車まつり終了

## 交通のご案内

### ■ 列車利用の場合

JR大船渡線矢越駅下車、徒歩30分で水車小屋。当日は矢越駅から臨時の送迎バスを運行します。

- ▶ 行き 8:30 発【JR大船渡線 気仙沼方面(下り) 矢越駅 8:25 着】
- ▶ 行き 8:05 発【JR大船渡線 一ノ関方面(上り) 矢越駅 7:59 着】
- ▶ 帰り 12:15 センター発 【一ノ関行 12:35 / 気仙沼行 13:49】

### ■ 車利用の場合

東北自動車道一関 IC から国道284号線を気仙沼方面へ約60分

### ■ 車両の規制について

植樹祭会場までの林道は狭く、原則として歩いて登っていただきます。車両乗り入れは、主催関係者の物品運搬や緊急車両等に限りさせていただきます。ひこばえの森交流センターからは、徒歩20分程度(約1km)となります。シャトルバスを用意しますが、途中までです。体の不自由な方、高齢の方などの利用を優先させていただきますのでご容赦ください。

## その他

- ・参加料は無料です。(カンパ歓迎)
- ・雨天でも実施します。植樹に適した服装でご参加ください。
- ・植樹用具、苗木は主催者が準備します。軍手などをご持参ください。
- ・交通事故、植樹作業時のケガなどにご注意ください。  
(主催者は責任を負いません)

## 水車まつりプログラム

### ステージイベント

会場 ひこばえの森交流センター

#### 出演 ハイブリッジーズ

「ハイブリッジーズ」は気仙沼を拠点に活動する「高橋家」家族バンドです。世代を超えた絆を大切にしながら、地域に根ざした音楽活動を続け、あたたかく心に響く歌声で多くの人々に元気と笑顔を届けています。懐かしさの中に新しさを感じるその音楽は、どこか故郷を思い出させ、聴く人の心にそっと寄り添います。本日は、気仙沼への想いを込めた楽曲をお届けいたします。どうぞ最後まで、心温まるひとときをお楽しみください。



#### 出演 室根創作太鼓の会「鼓」

#### 出演 鮪立大漁唄い保存会



### その他にも!

例年どおり、「水車粉ひき実演」、「こっとなこ市」、「ひこばえ食工房の食堂開設」、「植樹祭関連グッズの販売」が行われるほか、各種グルメや雑貨のお店が水車まつりに大集合!



## 会場のご案内



この活動はCOSMOエコ基金の助成を受けています